

大和市男女共同参画懇話会 第2回会議記録（要点筆記）		
開催日時		令和7年1月16日（木）午後2時～午後3時10分
開催場所		大和市役所 会議室棟 204会議室
出席状況	委員	出席：6名 高橋座長、今村座長代理、杉浦委員、関水委員、村上委員 岡本委員 欠席：1名 吉谷委員
	事務局	3名（国際・男女共同参画課長 他2名）
	傍聴者	0名
公開・非公開の状況		■公開 □非公開 □一部非公開
【次第】 1 開会 2 議題 （1）第4次やまと男女共同参画プラン 意見公募手続きの結果について （2）第4次やまと男女共同参画プランについて （3）第4次やまと男女共同参画プラン実施計画について （4）男女共同参画市民セミナーについて		
【資料】 資料1 第4次やまと男女共同参画プラン（案）の意見公募結果 資料2 第4次やまと男女共同参画プラン（案） 資料3－1 第4次やまと男女共同参画プラン 実施計画（案） 資料3－2 第4次男女共同参画プラン実施計画（案） 取り組み担当課一覧 資料4 令和6年度大和市男女共同参画市民セミナー実施要領		
【議事要旨】 1 開会 ◎事務局より傍聴希望者はいないことを報告。 座）傍聴希望について、どのように公開及び申込の受付をしているか。 事）懇話会の開催予告をホームページに公開している。国際・男女共同参画課で申し込みを受け付けている。 2 議題 （1）第4次やまと男女共同参画プラン 意見公募手続きの結果について ◎事務局より資料1に基づき説明。 質疑・意見他 特になし		

(2) 第4次やまと男女共同参画プランについて

◎事務局より資料2に基づき説明。

委) 外部アドバイザーの方から指摘があったところはどこか。

事) 独立行政法人国立女性教育会館にて男女共同参画を研究されている島直子氏に外部アドバイザーをお願いしており、都度、プランの内容について、アドバイスをいただいている。例としては、文部科学省が、性犯罪・性暴力対策強化として、推進している、こどもを性犯罪・性暴力の加害者・被害者・傍観者にしないための「生命（いのち）の安全教育」についても盛り込むべきとのご指摘をいただいたことから、教育委員会指導室と調整し、個別目標3－(2)に施策③「こどもたちが加害者・被害者・傍観者にならないための教育・啓発」を追加した。

座) それぞれの施策を担当する課が掲載されているとわかりやすいのではないか。

事) プランに基づき作成する実施計画に、実際の取り組みとそれを担当する課を掲載する。

(3) 第4次やまと男女共同参画プラン実施計画について

◎事務局より資料3－1、3－2に基づき説明。

座) 実施計画に各担当課の連絡先は掲載しないのか。

事) プランは男女共同参加に係る市の目標を示すものであり、プランに基づき、具体的な取り組みを掲載したものが実施計画であるが、一般的に取り組みを担当する課の連絡先は掲載してはいない。男女共同参画のプラン、実施計画に限らず、他のものも同様。

委) 男女共同参画については、コロナ禍前から、どのように変わってきているのか。

事) 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」、いわゆる女性支援法の施行により、女性の福祉や自立支援の方向性が示された。また、令和4年の市民意識調査では、男女が平等であると感じる割合は前回（平成29年）よりも減っている。これはコロナ禍により浮き彫りになった女性の貧困やDVの問題等が影響を及ぼしたものと考えられる。

委) 現実では、女性の立場はまだ低いと感じる。女性は家事労働の比率が高い。若い人達の方が家事労働の価値を分かっている。家事労働の社会的な価値が高まることによって、社会が変わっていくのではないか。

座) 現実の問題はまだ多いが、世の中の価値観は変わってきていると思う。それを少しでも後押しするためのものが男女共同参画プランである。

委) 女性は、旧来の価値観によって家庭構造に押し込められていたが、女性自身が世代を経て変わっていている。市民セミナーのような啓発が、大和市内の女性にとって新しい価値に触れるきっかけになればよい。

委) 私のときと、息子・娘の家庭は全然違う。女性だけではなく、男性が変わらないと家庭は変わっていかない。

委) プラン、実施計画から市の男女共同参画への姿勢は見えるが、実際の市民の関心が低い。やまと男女共同参画プランをPRしていくべき。

(4) 男女共同参画市民セミナーについて

◎事務局より資料4に基づき説明。

座) 男女共同参画市民セミナーの中で、第4次やまと男女共同参画プランについて周知すべき。

事) 講師の方から講話いただき、その後に、周知したい。

座) 前回の参加者はどのような様子だったか。

事) 老若男女幅広く参加されていた。セミナー後の質疑応答では、講師の方を交えて議論する場面もあった。

以上

注(座:座長 委:委員 事:事務局)